

2022年度（第6期）事業報告書

2021/10 – 2022/09

一般財団法人 エコロジカル・デモクラシー財団

**ECOLOGICAL
DEMOCRACY
FOUNDATION**



目次

- (1) 2022年度の事業枠組み p.3
- (2) 2022年度の実施体制 p.7
- (3) 2022年度事業達成度と成果 p.9
- (4) 2022年度予算と実績 p.11
- (5) 各活動の振返り p.12

(1) 2022年度・第6期 これまでの事業枠組み

- ・パンデミックを受けて特別スローガンの設定を検討してきた

全体像・ゴールイメージ

エコデモ財団のビジョン

一人ひとりが、人間は自然の一部であることと人間だけが培ってきた信念（自由、平等、平和）を誇りに思い、自然、生態系（エコロジー）を労り畏れながら、人々の協同（デモクラシー）を尊重する世界を目指す。

エコデモ財団のミッション

働く場、暮らす場、学ぶ場での様々な日常に、自然と社会の共存する目指すべき未来のタネを発見し、育くむ。具体的には、4事業分野において、これまでに開発してきた仕組みやツールを用い、人々の価値観に語りかけ、行動を提案する。

特別スローガン 自然と社会を一緒に考える:パンデミックを乗り越えるために(検討中)

ミッションのための戦略

<行政>

都市・地域のビジョンとそのデザインをエコデモにより深める

<企業>

企業活動(CSV)の中に新しいエコデモという価値を創造する

<市民>

市民活動の経験に学び、市民と共にエコデモの視点から活動の価値を再定置し、新たな協働のタネを発見する。

<学術>

多分野におけるエコデモ研究を深める

(1) 2022年度・第7期 今後の事業枠組み

- ・パンデミック以降に設定を試みた「特別スローガン」を次期でも引き続き検討する
- ・上記とともに、「ミッション」の刷新も次期で検討する

全体像・ゴールイメージ

エコデモ財団のビジョン

一人ひとりが、人間は自然の一部であることと人間だけが培ってきた信念（自由、平等、平和）を誇りに思い、自然、生態系（エコロジー）を労り畏れながら、人々の協同（デモクラシー）を尊重する世界を目指す。

エコデモ財団のミッション（次年度の活動方針・原則をもとに検討）

働く場、暮らす場、学ぶ場での様々な日常に、自然と社会の共存する目指すべき未来のタネを発見し、育くむ。具体的には、4事業分野において、これまでに開発してきた仕組みやツールを用い、人々の価値観に語りかけ、行動を提案する。

特別スローガン：（次年度の活動方針・原則をもとに検討）

ミッションのための戦略

<行政>

都市・地域のビジョンとそのデザインをエコデモにより深める

<企業>

企業活動(CSV)の中に新しいエコデモという価値を創造する

<市民>

市民活動の経験に学び、市民と共にエコデモの視点から活動の価値を再定置し、新たな協働のタネを発見する。

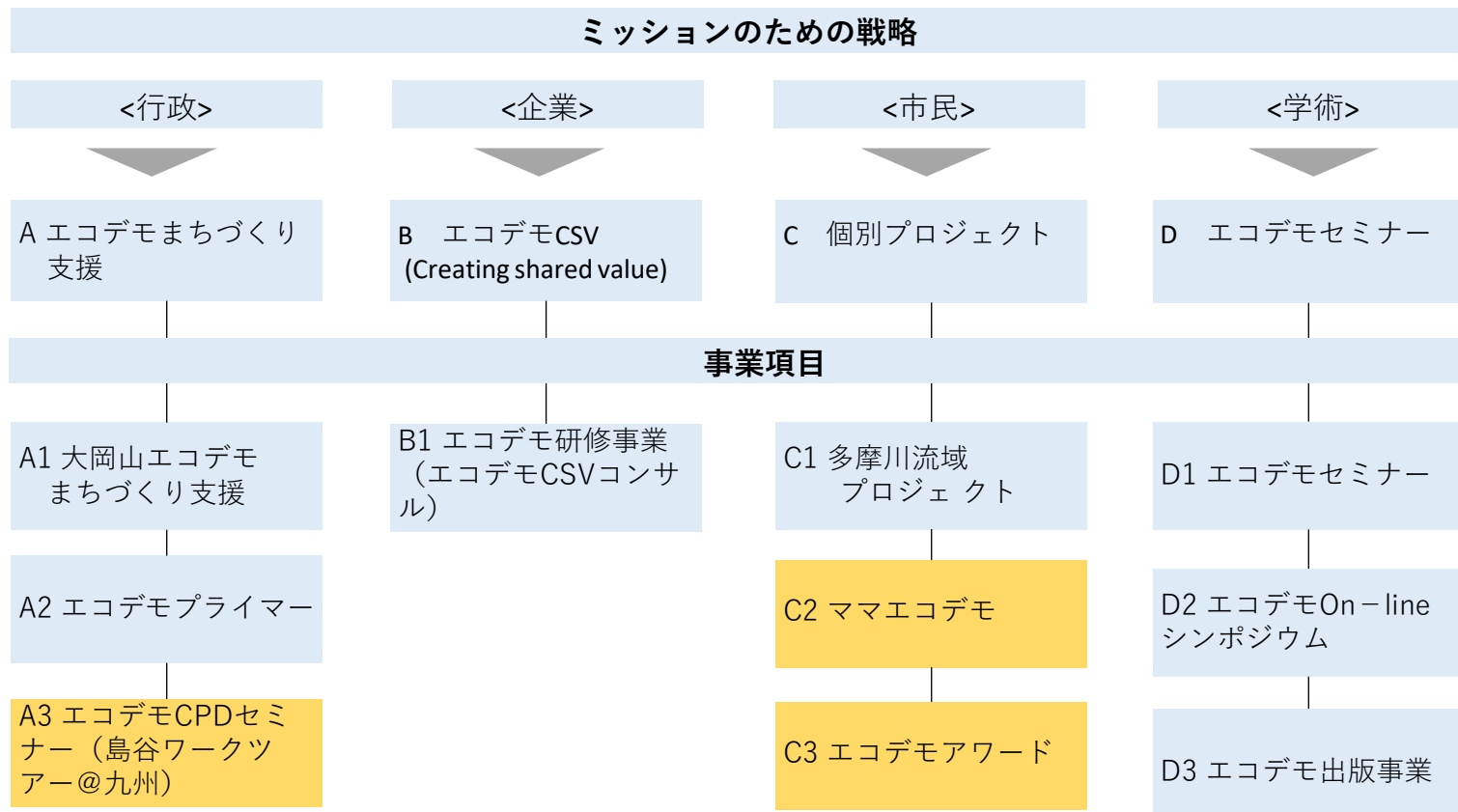
<学術>

多分野におけるエコデモ研究を深める

(1) 2022年度・第6期 これまでの事業枠組み

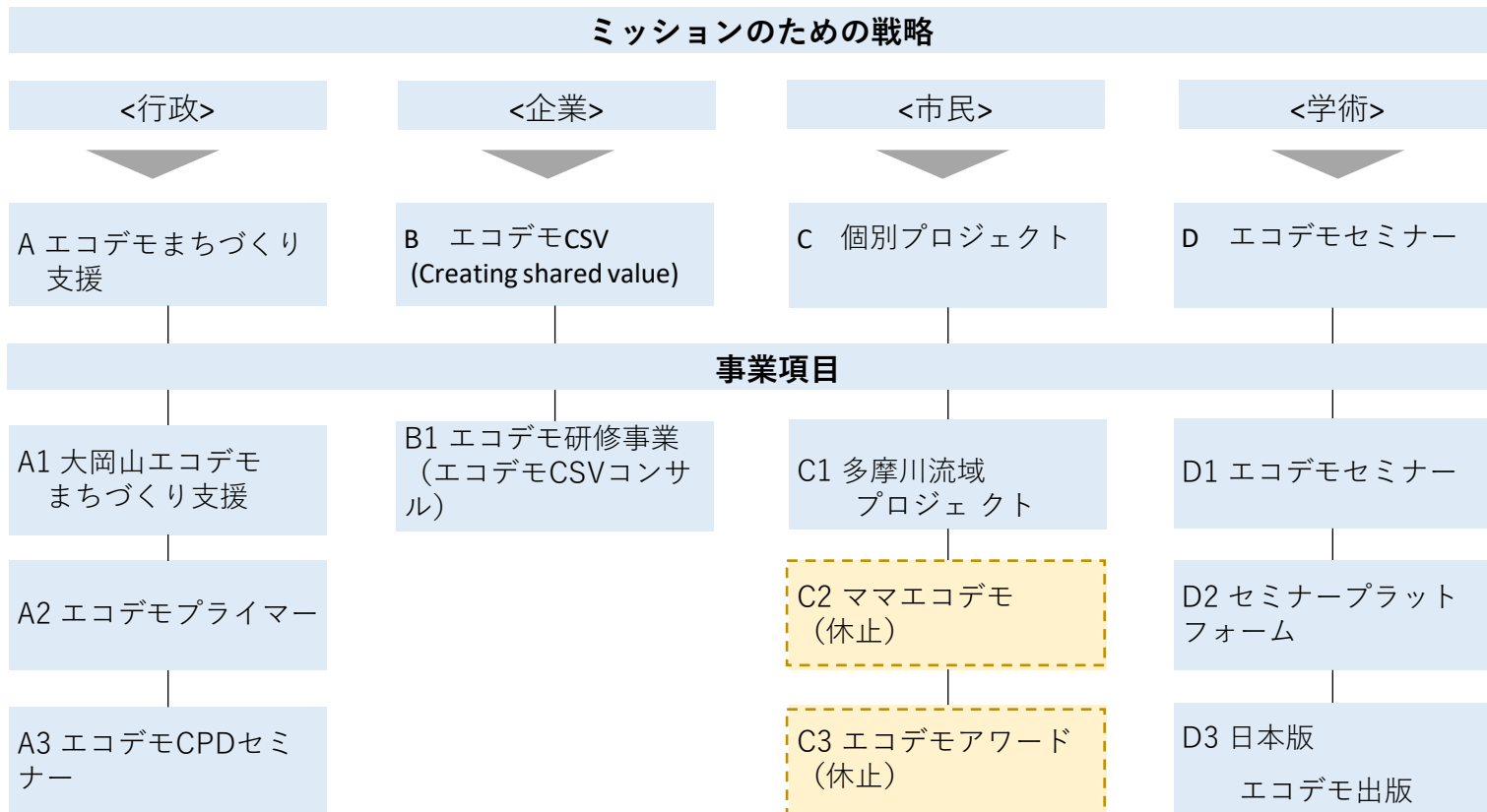
4つの対象（行政、企業、市民、学術）に、以下の事業を加えて活動してきた。

- ・ 行政向け事業「A3エコデモCPDセミナー（島谷ワークツアー@九州）」
- ・ 市民向け事業「C2ママエコデモ」「C3エコデモアワード」



(1) 2022年度・第7期 今後の事業枠組み

- ・ 前年度追加した個別プロジェクトは事業に注力できない状況が続いているため休止
(休止) C2ママエコデモ、C3エコデモアワード
- ・ 財団の重要なエコデモセミナーの資源を活用するためセミナー事業を拡充
D2) セミナープラットフォーム (ラジオ、同窓会、HPバージョンアップ)



(2) 2022年度・第6期 これまでの実施体制

- ・ 評議員3名、監事1名
- ・ 理事6名、アドバイザー5名

全体統括：●土肥真人

中・長期展開ビジョン

●土肥真人 ●伊東拓也 ●土屋陽子 ●清野隆 ●柴田久 ●土井良浩 ◇杉田早苗

<行政>

A) エコデモまちづくり支援

◇杉田早苗
●土肥真人
●柴田久
●土井良浩
◇中西正彦

<企業>

B) エコデモCSV

●伊東拓也
●土肥真人
◇吉田祐記

<市民>

C) 個別プロジェクト

◇吉田祐記
●土肥真人
●清野隆
●土屋陽子

<学術>

D) エコデモセミナー

●清野隆
●土肥真人
◇山本真紗子
◇坂村圭

助成金申請担当：◇谷内田絢子

サポーター： ・エコデモ財団発起人232名（2021年6月23日現在）

(2) 2023年度・第7期 今後の実施体制

- ・ 評議員3名、監事1名
- ・ 理事7名、アドバイザー4名
- 理事2名（丸谷、山本）選任、5名（土肥、土屋、清野、柴田、土井）重任

全体統括：●土肥真人

中・長期展開ビジョン

●土肥真人 ●土屋陽子 ●清野隆 ●柴田久 ●土井良浩
●丸谷耕太 ●山本真紗子 ◇杉田早苗

<p><行政> A) エコデモまちづくり支援</p>	<p><企業> B) エコデモCSV</p>	<p><市民> C) 個別プロジェクト</p>	<p><学術> D) エコデモセミナー</p>
<p>A1)大岡山エコデモ まちづくり支援 ◇杉田早苗 ◇中西正彦</p> <p>A2)エコデモプライマー ●柴田久 ●土井良浩 ●丸谷耕太 ◇杉田早苗 ◇中西正彦 ◇坂村圭</p>	<p>◇吉田祐記 ●山本真紗子 ●土屋陽子</p>	<p>◇吉田祐記 ●土屋陽子</p>	<p>●清野隆 ●山本真紗子</p>

助成金申請担当：◇谷内田絢子

サポーター：エコデモ財団発起人235名（2022年6月23日現在）

凡例 ●エコデモ財団理事、◇事務局・アドバイザー（敬称略）

(3) 2022年度事業の達成度、成果、次年度の目標と活動内容

・2022年度の目標達成度と成果を振り返り、次年度の活動目標・内容を確認

事業項目	2022年度6期目標	2022年度活動内容	達成度	成果	2023年度7期目標	2023年度活動内容
A1 大岡山	・大岡山のまちでのエコデモ実践活動	・大岡山の聖なる構造（フレームワーク）の発見 ・フレームワークにもとづいた大岡山のまちのビジョン、ガイドラインづくり ・定例会運営や提案集の更新	・聖なる構造の発見 ・まちづくりビジョン策定 ・定例会運営 ・提案集の更新 ・協議会ホームページ作成	・まちづくり協議会事業委託 ・まちづくりビジョン策定 ・協議会ホームページ作成	(6期と同じ)	・ビジョンを達成するためのアクションプラン（協議会の取組等）を策定 ・ビジョン、アクションプランへの意見収集（自治会・町会・商店会など） ・定例会の運営
A2 プライマー	・エコデモプライマーの素案作成	・大岡山の事例に基づくコンサル事業の要点抽出とプライマーの素案作成 ・上記素案を、アドバイザーやコンサルタントと検討	・未達		・エコデモプライマーの要点抽出	・大岡山の事例に基づくまちづくり支援の要点抽出の検討会議（2回、11月・3月） ・要点のとりまとめ
A3 CPDセミナー	・技術者、専門家を対象にエコデモの実践手法の認知を広める	・土木・建築・計画分野の技術者、専門家を対象としたセミナーの実施（全3回、各回70名の参加を目標） （・アートワークツアの企画）	・CPDセミナーの実施	・土木学会CPDセミナー（北原先生オンラインセミナー2022.6.22）	(6期と同じ)	・土木・建築・計画分野の技術者、専門家向けセミナーの実施（全2回、各回70名参加を目標） （・ゲスト講師プロジェクトの現地視察、レポート配信を検討）
B1 研修事業	・企業におけるCSV探索・目標設定支援研修 ・上記実現に向けた実践型研修	・前年度のエコデモ研修をベースとして企業2社のエコデモ研修事業を継続実施	・企業1社での研修継続 ・他企業の展開	・エコデモ研修第2期実施（2020年08-11月） ・第2期報告書	・企業における新規事業のプロトタイプ実践研修 ・第3期の実施（Maxcom）	・前年度研修を踏まえ、人材育成（個人の考える力・意志の向上）研修と並行して、新規事業のプロトタイプ実践サポート

達成度については次の通りに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと

(3) 2022年度の事業成果、達成度

事業項目	2022年度6期目標	2022年度活動内容	達成度	成果	2023年度7期目標	2023年度活動内容
C1 多摩川流域PJ	・多摩川水辺の活動グループの交流ネットワークづくり	・水辺活動グループ20団体を対象としたオンラインシンポジウム実施 ・多摩川プロジェクトのHPを活用し情報発信 ・水辺活動グループとのコラボ展示会・イベント共同実施	・オンラインシンポジウム ・HP活用 ・コラボ企画実施	・交流イベント企画（主に羽田・かわさき水辺の協力）	・個別の課題（世代交代など）を流域全体の課題として位置づけ、各課題に対して流域全体のリソースを活用する	①水辺の課題・資源の整理と流域全体への再設定 ②水辺の知恵・リソースを交換する機会の創出（干潟交流企画、オンラインシンポ） ③多摩川流域の活動情報発信（HP活用）
C2 ママエコデモ	・ディスカッション議事メモ ・調査概要の検討と準備	・ママの立場でエコデモを考え内部ディスカッション(3回) ・子供に関する活動団体に対する調査準備を実施	・未達		・一時休止	
C3 アワード	・エコデモアワードの事業計画作成（エコデモ認証準備）	・内部会議を実施し、アワードの目的、方法、審査員候補、スケジュールを検討	・未達		・一時休止	（エコデモ出版と並行して事業再開を検討する）
D1 セミナー	・エコデモセミナーの継続（7期10名で実施予定）	・エコデモセミナー7期 2022.02-2022.07(予定)	・7期の実施	・第7期を8名で実施中(2021年5-11月)	（6期と同じ）8期10名で実施予定	・エコデモセミナー8期 2023年3-8月(予定)
D2 プラットフォーム	・ランディ特別シンポジウムの実施	・「Inhabiting the Sacred in Everyday Life」をテーマとして、zoomでランディ特別シンポジウムを企画実施（参加者：200名、夏頃実施予定）	・ランディ特別シンポジウムの実施 ・エコデモラジオの実施	・エコデモラジオ実施（2022年2月～21回）	・セミナー生とのネットワーク強化 ・セミナー生の交流や議論プラットフォーム構築	●エコデモラジオ ・過去セミナー生を迎えエコデモを語る(全12回) ●セミナー同窓会 ・1～6期セミナー生が再び会える機会（全6回） ●HPバージョンアップ
D3 出版	・エコデモ関連書籍の認知拡大	・特別シンポジウムをまとめた「エコデモ新書」を用いた読書会の企画実施（書籍DL：500、読書会：7回・30名/回を目標）	・読書会の実施 （エコデモ新書を用いた講義）	・書籍DL700 （エコデモ新書を使った講義）	・日本版エコデモ本出版に向けた編集会議の立ち上げ ・同書籍の構成など詳細決定	・執筆者の募集と編集会議の開催 ・テーマを設定して原稿を募集。出版に向けた編者への会議や議論。

達成度については次の通りに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと

(5) 各事業の振り返り A1エコデモまちづくり支援 A2エコデモプライマー

ビジョンのための戦略

コミュニティ・都市・地域のスケールを行き来できる、まちのビジョンをつくる

2022年度の活動状況

・（以下で記載）

A1エコデモコンサル

2022年度 6期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山のまちでのエコデモ実践活動 	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聖なる構造（フレームワーク）の発見 ・ まちづくりビジョン策定 ・ 定例会運営 ・ 提案集の更新 ・ 協議会ホームページ作成
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山の聖なる構造（フレームワーク）の発見 ・フレームワークにもとづいた大岡山のまちのビジョン・ガイドラインづくり ・定例会の運営や提案集の更新 	2022年度 6期成果と 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山のフレームワークからまちづくりビジョンを策定し、6つの基本方針を定めた。 ・定例会運営の一環として協議会のホームページを刷新した。 ・ビジョンおよびホームページといった今後の協議会活動の基盤となる成果が得られた。

A2エコデモプライマー

2022年度 6期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エコデモプライマーの素案作成 	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未達
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山の事例に基づくコンサル事業の要点抽出とプライマーの素案作成 ・上記素案を、アドバイザーやコンサルタントと検討 	2022年度 6期成果と 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・エコデモコンサル事業の作業量が多く、マンパワーが不足しているため未達となった。

(5) 各事業の振り返り A3 CPDセミナー

A3 CPDセミナー

2022年度 6期目標	・技術者、専門家を対象にエコデモの実践手法の認知を広める	達成度	・土木学会CPDセミナー (北原先生オンラインセミナー2022.6.22)
活動内容	・土木・建築・計画分野の技術者、専門家を対象としたセミナーの実施(全3回、各回70名の参加を目標) (・アートワークツアーの企画)	2022年度 6期成果と 振り返り	・北原先生をゲストとしたオンラインセミナーを実施(参加者49名、チケット収益60千円、謝金他経費約40千円)。 ・雪国・黒石のこみせやかぐじが、雪の文化から来ていること、古いオオヤケから新しいオオヤケに移っていることなど、北原先生がエコデモに寄り添って下さった。 ・ほかオンライン運営の準備や課題も整理した。

達成度/成果については次の通りに表記 **青**：計画通り出来たこと **赤**：計画したができなかったこと **緑**：派生的にできたこと



(5) 各事業の振返り C1多摩川流域プロジェクト

ビジョンのための戦略

市民活動にあるエコデモの価値を見出し、エコデモの価値を認めてもらう

2022年度の活動状況

・全体の戦略、計画に沿って活動できない部分があったが、多摩川の水辺活動グループのネットワークづくりに向けた、交流企画を推進することができた。

C1多摩川流域プロジェクト

2022年度 6期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の水辺の楽校グループの交流ネットワークづくり 	達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインシンポジウム ・HP活用 ・コラボ企画実施
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺活動グループ20団体を対象としたオンラインシンポジウムを実施 ・多摩川カッププロジェクトのHPを水辺活動の情報発信プラットフォーム化し活用 ・水辺活動グループとコラボした展示会・イベントの共同実施 	2022年度 6期成果と 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・東急財団の助成金が終了したものの、各水辺の活動訪問を継続。活動をサポートしながら、複数の水辺団体の協力の下で実施する「試行プロジェクト」を企画することができた。 ・一方で、オンラインシンポジウムの実施、HPの活用などは、活動協力を上手く得ることができず、計画通り実施することができなかった。 ・今後は、全体の戦略・計画を意識しながら、具体的な交流イベント（多摩川河口の干潟歩き/干潟競争）を企画実施し、地域住民の方との協力をもとに、オンラインシンポジウム継続やHP活用を検討し、実施する



多摩川かっぱPJ
のHP

達成度/成果については次の通りに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと

(5) 各事業の振り返り C2 ママエコデモ C3 エコデモアワード

ビジョンのための戦略

市民活動にあるエコデモの価値を見出し、エコデモの価値を認めてもらう

2022年度の活動状況

- ・計画通りに事業を進めることができなかった。
- ・進められなかった原因を振り返り、今後の事業再開を検討する。

C2 ママエコデモ

2022年度 6期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション議事メモ ・調査概要の検討と準備 	達成度	未達
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ママ達の立場からエコデモについて考え、内部でディスカッションを3回実施 ・子供に関する活動をしている団体に対する調査準備を実施 	2022年度 6期成果と 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的余裕がなく、プロジェクトの構想までの準備、計画ができなかった為。

C3 エコデモアワード

2022年度 6期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・エコデモアワードの事業計画作成(エコデモ認証の準備) 	達成度	未達
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・内部会議を実施し、アワードの目的、方法、アワード・審査員候補、スケジュールを検討 	2022年度 6期成果と 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な理事会・戦略会議の場においてトピックとしては挙がるものの、他の事業（CSV、多摩川PJ）に注力していたため、本事業の計画・進行そのものができなかった

(5) 各事業の振返り D1エコデモセミナー、D2出版、D3シンポ

ビジョンのための戦略

エコデモの国際的な潮流を捉え、国内における学術的位置づけを多分野との共同で行う

2022年度の活動状況

- ・セミナー第7期を実施した
- ・エコデモラジオを実施した
- ・エコデモ新書の読書会を実施した

D1エコデモセミナー

2022年度 6期目標	・エコデモセミナーの継続 (7期10名で実施予定)	達成度	・第7期を実施できた (8名、2022/05-2022/11)
活動内容	・エコデモセミナー7期 2022.02-2022.07(予定)	2022年度 6期成果と 振り返り	・第7期を継続実施できた。6期より開始した各章のオンラインミーティングの手法や進め方も定着。

D2エコデモプラットフォーム

2022年度 6期目標	・ランディ特別シンポジウム の実施	達成度	・ランディ特別シンポジウムの実施 ・エコデモラジオの実施 (2022年2月~現在まで実施。9月まで全21回。)
活動内容	・「Inhabiting the Sacred in Everyday Life」をテーマとして、 zoomでランディ特別シン ポジウムを企画実施 (参加 者：200名、夏頃実施予定)	2022年度 6期成果と 振り返り	・ランディ特別シンポジウムは実施に いたらなかったが、エコデモセ ミナー生の交流を促すための エコデモラジオを開始。今後は エコデモプラットフォーム事 業として、セミナーさん者の 交流と議論の場づくりを行い、 他の事業への波及効果も意 識しながらネットワークを 拡充する。

D3エコデモ出版事業

2022年度 6期目標	・エコデモ関連書籍の認知 拡大	達成度	・書籍DL約700 ・読書会の実施 (大学の講義 等でエコデモ新書を用いた ディスカッション)
活動内容	・特別シンポジウムをまと めた「エコデモ新書」を用 いた読書会の企画実施(書 籍DL 500、読書会7回・ 30名/回を目標)	2022年度 6期成果と 振り返り	・書籍DL (約700 DL ※2022 年10月31日現在) ・エコデモ財団としての読書 会はできなかったが、様々 な大学の講義等でエコデ モ新書を用いたディスカ ッションを実施した。

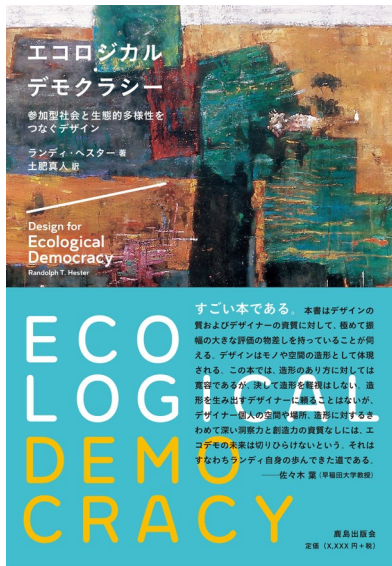
達成度/成果については次の通りに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと

(5) 各事業の振返り D1エコデモセミナー、D2出版、D3シンポ



エコデモセミナー：オンラインミーティング

今後の放送予定・ゲスト

※4月以降、隔週 水曜日20-21時に配信しています

以降も、定期的に配信予定!

「私のまちの言葉のスナップ」募集します!

誰にでもある大切な場所。小さい頃過ごしたまち、旅の途中で人生の啓示を受けたまち...皆さんのそんな街を一編の「言葉のスナップ」で教えてください。

500字までの「言葉のスナップ」と「ラジオネーム」を、ecodemo.found@gmail.comまでお送りください。

■メディア：ZOOM

(画面・音声OFF、ラジオネーム表記でご参加ください)

■定員：100名まで (聴取者が増えたら500名まで増員)

■料金：無料

■内容：ゲスト紹介/エコデモを話そう/お便りコーナー/リクエスト楽曲など

■MC：土肥真人、アシスタント

■聞き逃し配信：当財団Youtubeチャンネルで公開

過去の放送・ゲスト

2月 4日 丸谷耕太さん
10日 山本真紗子さん
17日 福永順彦さん
24日 杉田早苗さん

3月 3日 矢口哲也さん
10日 山下三平さん
17日 佐々木葉さん
24日 土肥 MC：坂村まさん

4月 6日 清野隆さん
20日 白井敬太郎さん

5月 4日 田中尚人さん
18日 米本言也さん

6月 1日 川澄厚志さん
15日 西成典久さん
29日 土屋陽子さん

7月 13日 石橋知也さん
27日 伊藤雅春さん

8月 10日 滝澤麟平さん
24日 篠沢健太さん

9月 7日 柏崎梢さん
21日 遠藤淳さん

10月 5日 土井良浩さん [New]
19日 山崎義人さん [準備中]

[聞き逃し配信はこちら](#)

(参考) 各活動の振り返り：講演会・イベント、原稿・論文、助成金

講演会・イベント

(講演会)

グリーンサポートせたがた主催・オンライン講座「グリーンがつなげる物語」第3回

2021年12月24日(金) 17:00-19:30 @ZOOM 『私たちがグリーンを受け止め、育むということ』

エコデモ財団応援人・高久ゆう、中澤已知、矢作理歩

(出版・原稿)

土肥真人「この星で生きるための都市を創る—生態系と協働して導く都市計画」

日本都市計画学会・学会誌『都市計画』354号,2022年1月号

土肥真人・杉田早苗「SDGsが公園にやってくる！—Park-PFIによる経済・社会・自然の統合的運営」

(一社)日本公園緑地協会・機関紙『公園緑地』No82-3(2021年12月号)

(各事業)

大岡山まちづくり支援 「大岡山・千束地区まちづくりビジョン」2022年3月作成

まちづくり協議会ホームページサイト作成 <https://ookayama.wixsite.com/home>

エコデモ財団主催オンラインセミナー「雪国津軽のまち育て×エコロジカル・デモクラシー：人の心に触れるまちのデザインとは」

2022年6月22日(水) 17:00-19:30 @ZOOM 基調講演：北原啓司(弘前大学)

とどろき水辺の楽校 「多摩川カヌー教室」2022年8月11日 エコデモ財団共催

羽田水辺の楽校 蒲田地域リーダー講習会プログラム第3回「干潟観察&生き物教室」2022年7月17日 ワークショップ実施

エコデモセミナー7期 オンラインミーティング実施、2022年5月～現在。

エコデモラジオ 2月～現在まで配信中(2-3月までは毎週、以降は隔週配信)。全20回、40曲。